

フラッシュメモリプログラマ PG-FP5用ソフトウェア リビジョンアップのお知らせ

フラッシュメモリプログラマ PG-FP5用ソフトウェアをリビジョンアップしました。
PG-FP5の概要は以下のURLをご参照ください。
https://www.renesas.com/pg_fp5

1. アップデート対象ソフトウェア

以下のソフトウェアを最新バージョンにアップデートできます。

	最新バージョン
ファームウェア V2.11以前	V2.12
プログラミングGUI V2.11以前	V2.12

各バージョンの確認方法は、以下のURLをご参照ください。

https://www.renesas.com/pgfp5_ver

なお、上記ソフトウェアをアップデートする場合、FPGAデータはV4をご使用ください。

2. リビジョンアップ内容

2.1 機能改善

PG-FP5とターゲットデバイス間の通信モードを設定する際に使用する、通信ポートの名称を変更しました。

対象マイコン: RXファミリ (RX64xを除く) および SuperHファミリ

「通信ポート」ドロップダウンリスト内の選択項目として表示される「UART-ch0」について、フラッシュ書き込みに使用するマイコンのチャンネル番号数と紛らわしく、誤解を招く可能性があったため、

「UART」に変更しました。

「通信ポート」は、「デバイスセットアップ」ダイアログボックス -> 「スタンダード」タブ -> 「書き込み通信」エリア内で設定します。

2.2 動作環境の変更

Windows 8.1 (32ビットおよび64ビット版) のサポートを開始しました。
なお、Windows XPでの動作評価は実施していません。
Windows XPをご使用の場合、前バージョンをご使用ください。

2.3 不具合改修

(1) 読み出しコマンド内の表示コマンド実行に関する注意を改修

RENESAS TOOL NEWS 資料番号 130930/tn2 で連絡した、
以下の注意事項を改修しました。

- 読み出しコマンド内の表示コマンド実行に関する注意

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=130930tn2>

(2) データフラッシュの最小単位書き込み機能使用時の注意を改修

RENESAS TOOL NEWS 資料番号 130930/tn2 で連絡した、
以下の注意事項を改修しました。

- データフラッシュの最小単位書き込み機能使用時の注意

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=130930tn2>

(3) オプションバイト設定およびOCDセキュリティID設定に関する注意を改修

RENESAS TOOL NEWS 資料番号 131206/tn1 で連絡した、
以下の注意事項を改修しました。

- オプションバイト設定およびOCDセキュリティID設定に関する注意

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=131206tn1>

(4) コードフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに

関する注意を改修

RENESAS TOOL NEWS 資料番号 131206/tn1 で連絡した、
以下の注意事項を改修しました。

- コードフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに関する注意

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=131206tn1>

(5) データフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロード

に関する注意を改修

RENESAS TOOL NEWS 資料番号 131206/tn1 で連絡した、
以下の注意事項を改修しました。

- データフラッシュ領域へのプログラムファイルダウンロードに関する注意

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=131206tn1>

(6) ユニークコード埋め込み機能における埋め込み先ブロックの誤りを改修

該当ソフトウェアおよびバージョン:

PG-FP5用ファームウェア V2.11

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11

該当マイコン:

V850ファミリマイコンのうち、データフラッシュとID Tagを搭載したマイコン

内容:

「デバイスセットアップ」ダイアログボックス -> 「スタンダード」タブ内の「動作モード」エリアで設定した書き込み先ブロックの範囲がデータフラッシュのブロック0を含まない場合、ユニークコード埋め込み機能を実行すると、誤ったアドレスにユニークコードが埋め込まれていました。

(7) ユニークコード埋め込み機能における指定アドレス範囲の制限を改修

該当ソフトウェアおよびバージョン:

PG-FP5用ファームウェア V2.11

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11

該当マイコン:

PG-FP5の全サポートマイコン

内容:

ユニークコード埋め込み機能において、ユニークコード埋め込み先のアドレス範囲に FFFFFFF0h~FFFFFFFFh が含まれる場合、FFFFFFF0h~FFFFFFFFh にユニークコードを埋め込めませんでした。

(8) FINE通信選択時におけるIO信号設定エリアの表示を改修

該当ソフトウェアおよびバージョン:

PG-FP5用ファームウェア V2.11

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11

該当マイコン:

RX200シリーズ

内容:

通信方法として「Fine-D」を選択した場合、モード端子の制御設定を変更する必要はありませんが、「IO信号設定」エリアで変更できるように表示されていました。

GUI上ではどの制御が指定されていても、
PG-FP5のソフトウェア内では以下の内容で固定されています。

IO0: High-Z

IO1: High-Z

IO2: High-Z

IO3: FINE端子との通信端子であるため、動作に影響しません。

IO4: High-Z

IO5: High-Z

なお、通信方法として「UART」を選択した場合は、必要に応じて
「デバイスセットアップ」ダイアログボックス -> 「アドバンス」タブ
-> 「フラッシュオプション」エリア内にある「IO信号設定」エリアで
モード端子の制御について設定してください。

(9) フラッシュオプションの取得コマンドの実行 および ロックビット情報の 取得に関する改修

該当ソフトウェアおよびバージョン:

PG-FP5用ファームウェア V2.11

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11

該当マイコン:

SuperHファミリ

内容:

ロックビット機能非搭載のマイコンを使用時でも、以下の動作が
実行でき、その結果、エラーが表示されていました。

(a) プログラミングGUI の「デバイス」メニュー内の

「フラッシュオプションの取得」コマンドを実行し、

ターゲットデバイスに設定されているオプションバイト情報を取得

(b) 通信用の「glb」コマンドを実行し、ターゲットデバイスに

設定されているロックビット情報を取得

3. アップデート方法

無償でオンラインアップデートが可能です。

以下のURLにあるダウンロードサイトから各アップデートプログラムを
ダウンロードしてください。

(5月20日からアップデートプログラム掲載予定)

https://www.renesas.com/pg_fp5_download

アップデート方法の詳細は、PG-FP5ユーザーズマニュアルをご参照ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.